

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る  
事後調査報告書  
(平成23年9月分)

大 阪 市 港 湾 局  
大阪湾広域臨海環境整備センター

## 目 次

### 事後調査の概要

- |             |     |
|-------------|-----|
| 1 . 調査概要    | - 1 |
| 2 . 工事の実施状況 | - 7 |
| 3 . 調査結果の概要 | - 8 |

### 事後調査結果

- |         |     |
|---------|-----|
| 1 . 大気質 | - 1 |
| 2 . 水質  | - 9 |

## 事後調査の概要

## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 23 年 9 月の事後調査の概要は表 - 1 に、調査地点の位置は図 - 1 に示すとおりである。

### 埋立地周辺における調査

表 - 1 (1) 事後調査の概要 (平成 23 年 9 月)

#### (1) 大気質 (図 - 1(1)参照)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	9月1日～30日	通年連続

#### (2) 水質

##### 一般項目 (図 - 1(1)参照)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 [1, 2, 3, 4, 5] 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	9月13日	1回/月
その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

#### 埋立中の濁り等監視(廃棄物処分場周辺) (図 - 1(2)参照)

##### - 1 放流水、内水及び護岸外周(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1点	9月1日～30日	連続測定
浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS)	放流水 1点	9月6,13,20,27日	1回/週
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N)	内水 1点 (処理原水)	9月6日	1回/月
全燐(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数			4回/年 (5月、8月、11月、2月)
透明度 水温 塩分 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) [19, 20, 21] 上層:海面下1m 下層:海底面上2m  n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回/年 (5月、8月、11月、2月)

表 - 1 (2) 事後調査の概要 (平成 23 年 9 月)

- 1 放流水、内水及び護岸外周(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
健康項目等 カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 ほう素 ふっ素 アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)	放流水 1点 内水 1点 (処理原水) 護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) [19, 20, 21] 上層:海面下1m 下層:海底面上2m		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
1,4-ジオキサン	1,4-ジオキサンは護岸外周のみ調査		
ダイオキシン類	ダイオキシン類は上層のみ調査		放流水 4回/年 (5月、8月、11月、2月) 内水 2回/年 (8月、2月) 護岸外周 1回/年 (8月)

表 - 1 (3) 事後調査の概要 (平成 23 年 9 月)

- 2 処分場周辺

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	6点(護岸から500m)×2層 [13, 14, 15, 16, 17, 18] 上層:海面下1m 下層:海底面上2m  n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 1,4-ジオキサン			2回/年 (8月、2月)

表 - 1 (4) 事後調査の概要 (平成 23 年 9 月)

(3) 底質

一般項目

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全燐(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) [2, 3, 4, 5]		2回/年 (8月、2月)

廃棄物等埋立中の監視(廃棄物処分場周辺)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全燐(T-P) 酸化還元電位	1点(表層土) [15]		2回/年 (8月、2月)
有害項目<含有量試験> アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機燐 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル パナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン			

表 - 1 (5) 事後調査の概要 (平成 23 年 9 月)

(4) 騒音・低周波空気振動

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル	1点(大阪南港野鳥園)		2回/年 (4月、10月)
低周波空気振動音圧レベル			

(5) 悪臭

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点(大阪南港野鳥園)	9月13日	2回/年 (8月、9月)

(6) 陸域生態系(鳥類)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 [a、b、c、d]		4回/年 (5月、6月、8月、2月) (2年おきに実施)

廃棄物搬入施設周辺における調査

廃棄物搬入施設

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質 二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 [ 2, 3] 堺基地 : 2点 [ 1, 2] 泉大津基地 : 2点 [ A, B]		1週間×4回/年 (5月、8月、11月、2月)
騒音 道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 [ 2, 3] 堺基地 : 2点 [ 1, 2] 泉大津基地 : 2点 [ A, B]		2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
振動 道路交通振動レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 [ 2, 3] 堺基地 : 2点 [ 1, 2] 泉大津基地 : 2点 [ A, B]		2回/年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
交通量 廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道 大阪基地 : 3点 [ 1, 2, 4] 堺基地 : 4点 [ 1, 2, 3, 4] 泉大津基地 : 3点 [ A, B, C]		4回/年 (操業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
悪臭 臭気強度 臭気指数	敷地境界 大阪基地 : 2点(風上、風下) [ 5, 6] 堺基地 : 2点(風上、風下) [ 5, 6] 泉大津基地 : 2点(風上、風下) [ D1, D2]		2回/年 (6月、8月)



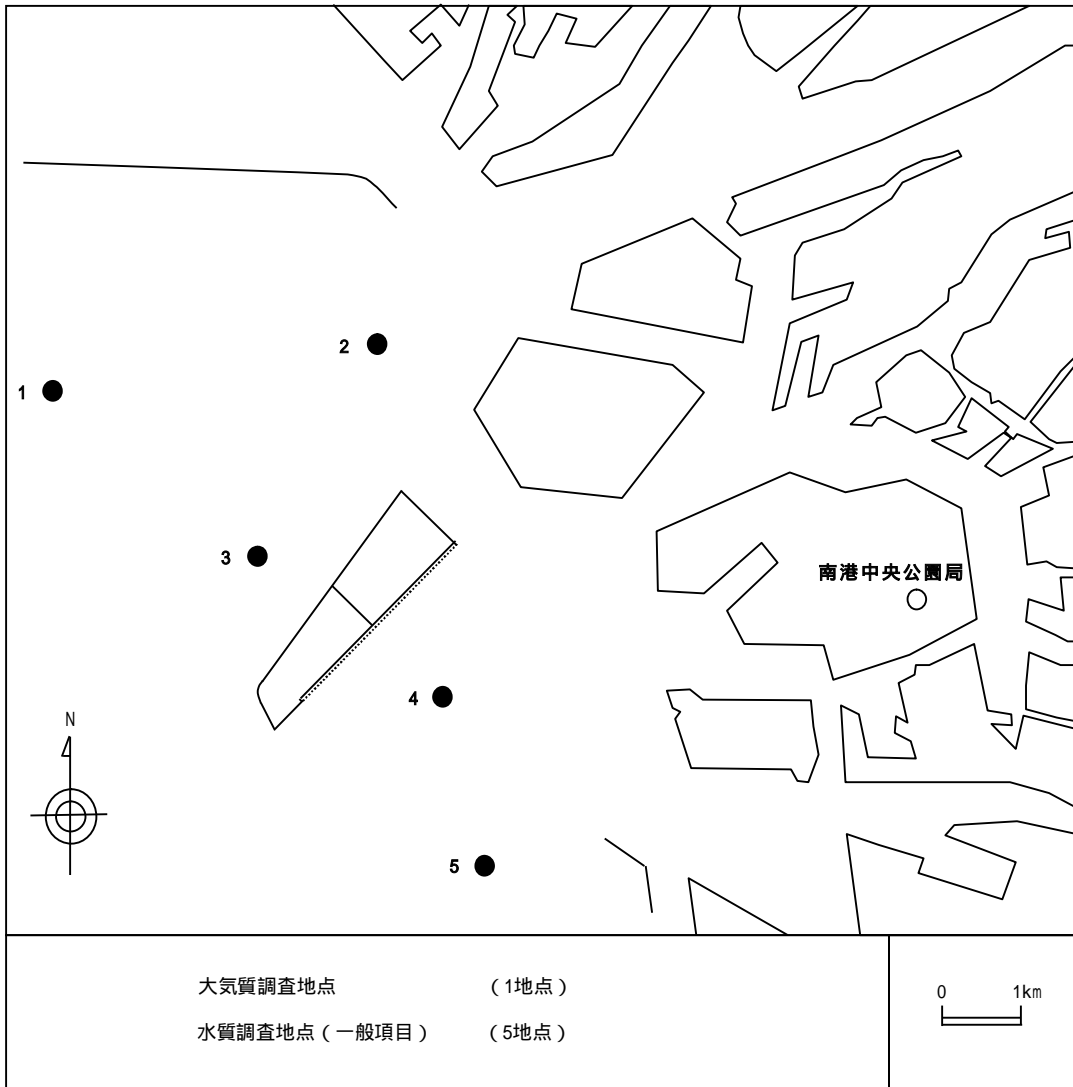


図 - 1(1) 大気質、水質(一般項目)の調査地点 (平成 23 年 9 月)

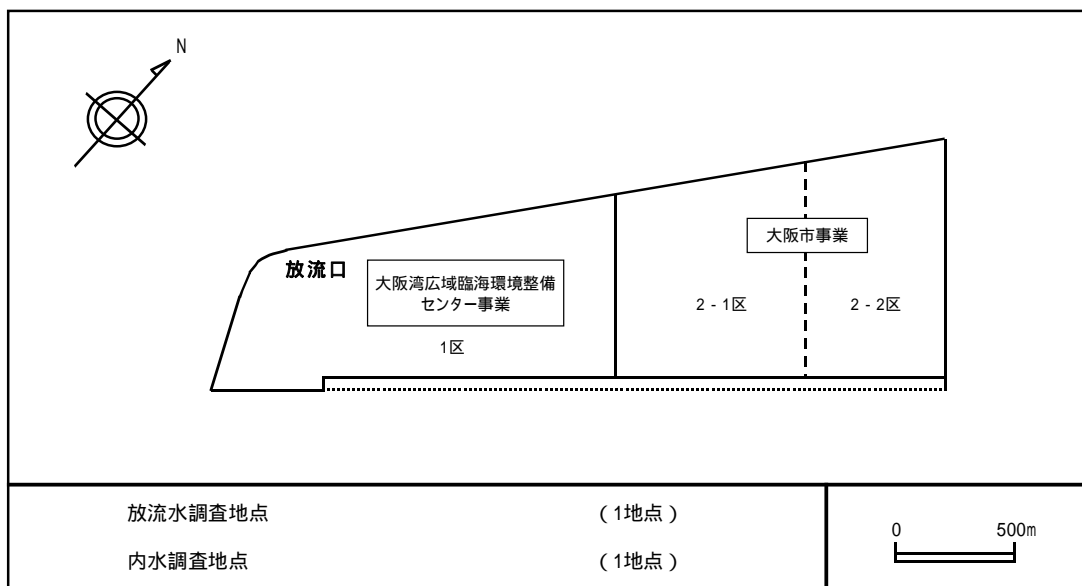
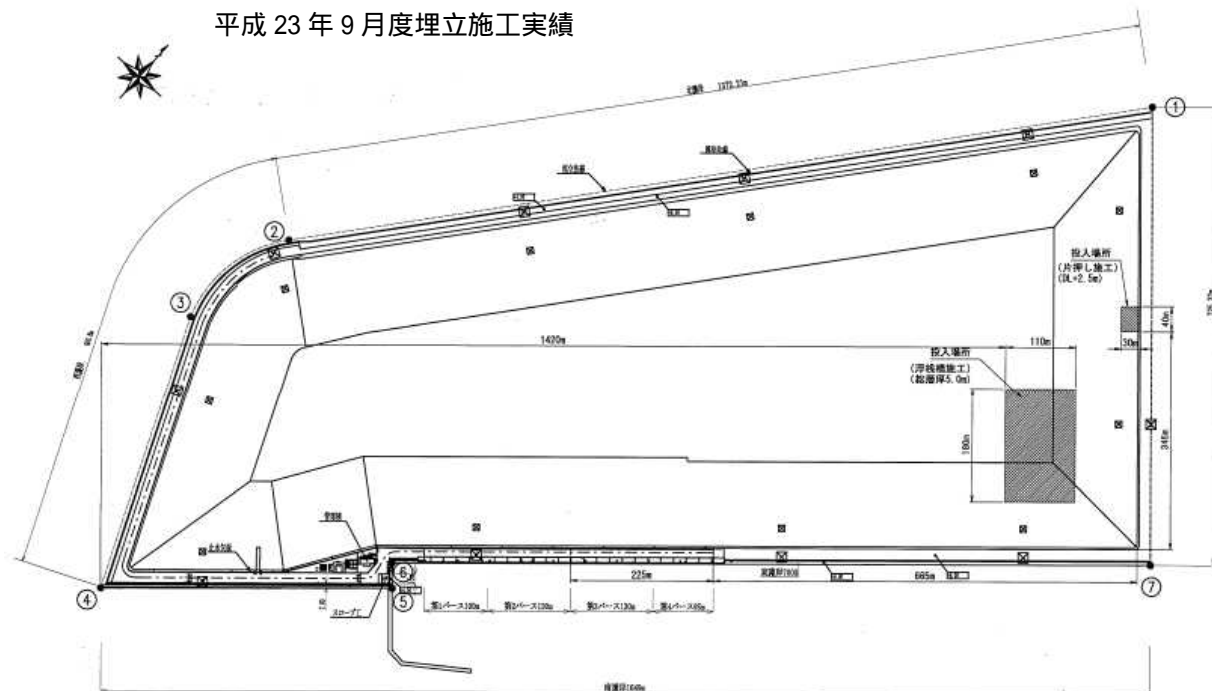


図 - 1(2) 水質(埋立中:放流水、内水)の調査地点 (平成 23 年 9 月)

## 2. 工事の実施状況

平成 23 年 9 月の工事の実施状況は、図 - 2 に示すとおりである。

大阪沖埋立処分場平面図



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
1,290,509	9.2

埋立容量 (計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図 - 2 工事の実施状況 (平成 23 年 9 月)

### 3 . 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### ( 1 ) 大気質 [ 大気質様式第 1 号 ~ 8 号 ]

- 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1 時間値：0.1ppm 以下】  
二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.004ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.006ppm、1 時間値の最高値は 0.014ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04 ~ 0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】  
二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.020ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.035ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1 時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】  
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.021mg/m<sup>3</sup> であった。また、日平均値の最高値は 0.031mg/m<sup>3</sup>、1 時間値の最高値は 0.052mg/m<sup>3</sup> であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### ( 2 ) 水質

###### 一般項目 [ 水質様式第 1 号 ]

- 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】  
水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.3 ~ 8.4、下層で 7.8 ~ 7.9 の範囲にあり、上層では調査地点 3、4、5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値の範囲内であった。  
環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 3 (8.4)、調査地点 4 (8.4)、調査地点 5 (8.4) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は、上層で 7.7 ~ 8.6 であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。
- 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg /L 以下】  
化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.3 ~ 3.8mg /L、下層で 1.9 ~ 2.5mg /L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。  
環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (3.6mg/L)、調査地点 2 (3.7mg/L)、調査地点 3 (3.3mg/L)、調査地点 4 (3.8mg/L)、調査地点 5 (3.5mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は、上層で 1.6 ~ 4.9

mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 11～13 mg/L、下層で 2.0～3.8mg/L の範囲にあり、上層は全ての調査地点で環境基準を満たしていたが、下層は全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 1 (2.0mg/L)、調査地点 2 (3.8mg/L)、調査地点 3 (2.3mg/L)、調査地点 4 (2.5mg/L)、調査地点 5 (3.7mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、下層で 0.6～11mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.50～0.85mg/L、下層で 0.48～0.69mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 5 以外の調査地点において環境基準値を上回っており、下層では調査地点 1 及び 3 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.66mg/L)、調査地点 2 (0.77mg/L)、調査地点 3 (0.85mg/L)、調査地点 4 (0.79mg/L)、下層における調査地点 1 (0.69mg/L)、調査地点 3 (0.64mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、上層で 0.46～2.1mg/L、下層で 0.29～0.82mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全リン (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全リン (T-P) は上層で 0.027～0.044mg/L、下層で 0.039～0.057mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていたが、下層では調査地点 2 及び 3 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、下層における調査地点 2 (0.052mg/L)、調査地点 3 (0.057mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は、下層で 0.020～0.25mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1～3 度(カサ)、下層で 1～2 度(カサ)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 2～5mg/L、下層で 1～4mg/L の範囲であった。

## 8) ㊦㊦㊦ a

㊦㊦㊦ a は上層で報告下限値未満 (<1) ~ 1 µg/L の範囲であった。下層では全ての調査地点において報告下限値未満 (<1 µg/L) であった。

### - 1 放流水、内水及び護岸外周 [ 水質様式第 6 ~ 9 号 ]

#### 1) 放流水 ( 連続測定 )

濁度は、0.2 ~ 0.3 度(カリ) ( 平均値 0.2 度(カリ) ) の範囲であった。

水温は、22.6 ~ 28.4 ( 平均値 25.4 ) の範囲であった。

pH は、7.8 ~ 8.1 の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値 ( 5.0 以上 9.0 以下 ) の範囲内であった。

COD は、2.2 ~ 8.4mg/L ( 平均値 4.5mg/L ) の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値 ( 90mg/L ) 及び管理目標値 ( 40mg/L ) を下回っていた。

DO は、 1 接触酸化槽において 7.6 ~ 9.0mg/L ( 平均値 8.3mg/L ) 、 2 接触酸化槽において 7.4 ~ 8.6mg/L ( 平均値 8.1mg/L ) であった。

注 : 1 . 水温は、分配槽の温度を測定。

2 . DO については、測定計設置調整中のため、参考値として接触酸化槽での測定値を掲載。

#### 2) 放流水、内水

##### ・放流水

SS は、1.5 ~ 2.1mg/L ( 平均値 1.8mg/L ) の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値 ( 60mg/L ) 及び管理目標値 ( 50mg/L ) を下回っていた。

FSS は、報告下限値未満 (<1mg/L) ~ 1.3mg/L ( 平均値 1.1mg/L ) であった。

pH は、8.1 であり、放流水の基準値及び管理目標値 ( 5.0 以上 9.0 以下 ) の範囲内であった。

COD は、7.8mg/L であり、放流水の基準値 ( 90mg/L ) 及び管理目標値 ( 40mg/L ) を下回っていた。

T-N は、2.1mg/L であり、放流水の基準値 ( 120mg/L、日間平均 60mg/L ) 及び管理目標値 ( 30mg/L ) を下回っていた。

##### ・内水

SS は、2.5 ~ 11mg /L ( 平均値 4.8mg/L ) の範囲であった。

FSS は、1.1 ~ 4.4mg/L ( 平均値 2.0mg/L ) の範囲であった。

pH は 8.7、COD は 8.5mg/L、T-N は 2.4mg/L であった。

#### 3) 護岸外周

9 月は実施せず。

- 2 処分場周辺

9月は実施せず。

(3) 底質

9月は実施せず。

(4) 騒音・低周波空気振動

9月は実施せず。

(5) 悪臭

事後調査報告書（平成23年9月分）で報告する。

(6) 陸域生態系（鳥類）

9月は実施せず。

廃棄物搬入施設周辺における調査

9月は実施せず。

《 参 考 》 環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項 目	基 準 値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

(2) 水質

水質（海域）

類型	項 目	基 準 値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出されないこと
	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全燐 (T-P)	0.05mg/L 以下

- 注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。
2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。  
公共用水域における環境基準(BOD又はCOD)の評価方法について（昭和52年環水管52号）
- (1) 環境基準の水域累計を指定する際の水質測定結果の評価方法について  
環境基準の水域累計をあてはめるための水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類計の基準値を満たしているデータ数の占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。  
75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さい者から順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値とする。（0.75×nが整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。）
- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点をもつ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 規制基準等

### (1) 水質

水質（放流水・一般項目）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型最終処分場	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L 以下
	浮遊物質 (SS)	60mg/L 以下	50mg/L 以下
	窒素含有量 (T-N)	120mg/L (日間平均60mg/L) 以下	30mg/L 以下
	磷含有量 (T-P)	16mg/L (日間平均 8mg/L) 以下	4mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (n-ヘキサン抽出物質)	鉱油類含有量 : 5mg/L以下 動植物油脂類含有量 : 30mg/L以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000個/cm <sup>3</sup> 以下	同左

- 注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋。  
 2. 管理目標値は、事後調査計画書における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。



## 事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表[平成23年9月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
一 酸 化 硫 黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二 酸 化 窒 素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	715
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮 遊 粒 子 状 物 質	有効測定日数（日）	28
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	693
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第2号（埋立地関連）

二酸化硫黄測定結果[平成23年9月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日	1 (木)	0.002	0.003	
	2 (金)	0.001	0.002	
	3 (土)	0.001	0.001	
	4 (日)	0.002	0.004	
	5 (月)	0.005	0.009	
	6 (火)	0.006	0.013	
	7 (水)	0.006	0.014	
	8 (木)	0.006	0.012	
	9 (金)	0.004	0.006	
	10 (土)	0.003	0.005	
	11 (日)	0.003	0.005	
	12 (月)	0.004	0.005	
	13 (火)	0.004	0.008	
	14 (水)	0.005	0.007	
	15 (木)	0.005	0.013	
別	16 (金)	0.002	0.004	
	17 (土)	0.002	0.006	
	18 (日)	0.003	0.006	
	19 (月)	0.003	0.007	
	20 (火)	0.002	0.003	
	21 (水)	0.002	0.007	
	22 (木)	0.004	0.007	
	23 (金)	0.005	0.010	
	24 (土)	0.004	0.008	
	25 (日)	0.004	0.008	
	値	26 (月)	0.005	0.007
		27 (火)	0.004	0.007
		28 (水)	0.005	0.007
		29 (木)	0.005	0.007
		30 (金)	0.002	0.005
有効測定日数（日）		30		
測定時間（時間）		716		
月平均値（ppm）		0.004		
日平均値の最高値（ppm）		0.006		
1時間値の最高値（ppm）		0.014		
1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0		
日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号(埋立地関連)

一酸化窒素測定結果[平成23年9月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (木)	0.013	0.030
	2 (金)	0.005	0.014
	3 (土)	0.001	0.002
	4 (日)	0.003	0.014
	5 (月)	0.009	0.030
	6 (火)	0.003	0.006
	7 (水)	0.009	0.048
	8 (木)	0.007	0.053
	9 (金)	0.007	0.027
	10 (土)	0.007	0.039
別	11 (日)	0.004	0.018
	12 (月)	0.006	0.028
	13 (火)	0.009	0.038
	14 (水)	0.009	0.034
	15 (木)	0.007	0.030
	16 (金)	0.011	0.030
	17 (土)	0.017	0.064
	18 (日)	0.008	0.025
	19 (月)	0.003	0.012
	20 (火)	0.014	0.042
値	21 (水)	0.003	0.010
	22 (木)	0.004	0.014
	23 (金)	0.002	0.004
	24 (土)	0.005	0.026
	25 (日)	0.002	0.007
	26 (月)	0.010	0.044
	27 (火)	0.010	0.038
	28 (水)	0.006	0.036
	29 (木)	0.011	0.048
	30 (金)	0.004	0.023
有効測定日数(日)		30	
測定時間(時間)		715	
月平均値(ppm)		0.007	
日平均値の最高値(ppm)		0.017	
1時間値の最高値(ppm)		0.064	

- 注:1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果[平成23年9月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (木)	0.013	0.022
	2 (金)	0.009	0.017
	3 (土)	0.009	0.014
	4 (日)	0.016	0.030
	5 (月)	0.022	0.039
	6 (火)	0.019	0.036
	7 (水)	0.029	0.048
	8 (木)	0.034	0.058
	9 (金)	0.024	0.038
	10 (土)	0.016	0.031
別	11 (日)	0.011	0.019
	12 (月)	0.016	0.022
	13 (火)	0.020	0.033
	14 (水)	0.025	0.042
	15 (木)	0.020	0.036
	16 (金)	0.015	0.033
	17 (土)	0.018	0.027
	18 (日)	0.011	0.018
	19 (月)	0.010	0.017
	20 (火)	0.026	0.037
値	21 (水)	0.015	0.021
	22 (木)	0.016	0.026
	23 (金)	0.018	0.038
	24 (土)	0.023	0.039
	25 (日)	0.016	0.030
	26 (月)	0.035	0.049
	27 (火)	0.034	0.043
	28 (水)	0.034	0.055
	29 (木)	0.033	0.056
	30 (金)	0.017	0.041
有効測定日数（日）		30	
測定時間（時間）		715	
月平均値（ppm）		0.020	
日平均値の最高値（ppm）		0.035	
1時間値の最高値（ppm）		0.058	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。  
 その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）  
 は、現時点では未確定値である。

大気質様式第5号(埋立地関連)

窒素酸化物(NO + NO<sub>2</sub>)測定結果[平成23年9月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日 別	1 (木)	0.027	48.1	0.047
	2 (金)	0.014	64.3	0.031
	3 (土)	0.010	90.0	0.016
	4 (日)	0.019	84.2	0.039
	5 (月)	0.031	71.0	0.062
	6 (火)	0.022	86.4	0.042
	7 (水)	0.038	76.3	0.091
	8 (木)	0.041	82.9	0.105
	9 (金)	0.031	77.4	0.065
	10 (土)	0.023	69.6	0.061
	11 (日)	0.015	73.3	0.032
	12 (月)	0.023	69.6	0.047
	13 (火)	0.029	69.0	0.057
	14 (水)	0.034	73.5	0.062
	15 (木)	0.027	74.1	0.053
値	16 (金)	0.026	57.7	0.054
	17 (土)	0.035	51.4	0.087
	18 (日)	0.020	55.0	0.043
	19 (月)	0.012	83.3	0.026
	20 (火)	0.040	65.0	0.074
	21 (水)	0.018	83.3	0.031
	22 (木)	0.020	80.0	0.040
	23 (金)	0.020	90.0	0.039
	24 (土)	0.028	82.1	0.062
	25 (日)	0.017	94.1	0.031
	26 (月)	0.045	77.8	0.093
	27 (火)	0.044	77.3	0.076
	28 (水)	0.040	85.0	0.082
	29 (木)	0.043	76.7	0.098
	30 (金)	0.021	81.0	0.064
有効測定日数(日)		30		
測定時間(時間)		715		
月平均値(ppm)		0.027		
日平均値の最高値(ppm)		0.045		
1時間値の最高値(ppm)		0.105		
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		75.0		

注:1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>)の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>)

$$= \frac{\text{(NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和)}}{\text{(NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO+NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和)}}$$

3. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

大気質様式第6号（埋立地関連）

浮遊粒子状物質測定結果[平成23年9月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (木)	0.022	0.039
	2 (金)	0.023	0.037
	3 (土)	0.012	0.023
	4 (日)	0.015	0.028
	5 (月)	0.014	0.020
	6 (火)	0.016	0.029
	7 (水)	0.022	0.032
	8 (木)	0.031	0.051
	9 (金)	0.031	0.047
	10 (土)	0.029	0.038
別	11 (日)	0.025	0.045
	12 (月)	0.019	0.030
	13 (火)	0.023	0.035
	14 (水)	0.031	0.040
	15 (木)	0.022	0.035
	16 (金)	0.015	0.035
	17 (土)	0.018	0.033
	18 (日)	0.023	0.044
	19 (月)	0.019	0.035
	20 (火)	(0.011)	(0.023)
値	21 (水)	(0.007)	(0.012)
	22 (木)	0.013	0.025
	23 (金)	0.013	0.025
	24 (土)	0.019	0.038
	25 (日)	0.018	0.030
	26 (月)	0.021	0.033
	27 (火)	0.024	0.031
	28 (水)	0.028	0.040
	29 (木)	0.031	0.052
	30 (金)	0.023	0.039
有効測定日数（日）		28	
測定時間（時間）		693	
月平均値（mg/m <sup>3</sup> ）		0.021	
日平均値の最高値（mg/m <sup>3</sup> ）		0.031	
1時間値の最高値（mg/m <sup>3</sup> ）		0.052	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号(埋立地関連)

気象観測結果(風向・風速)[平成23年9月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多風向 16方位
		平均風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日別	1 (木)	2.4	4.4	E	NE
	2 (金)	3.8	5.5	NE	NE
	3 (土)	3.0	4.6	E	E
	4 (日)	1.5	3.7	ESE	ESE
	5 (月)	1.2	2.3	WSW	WSW, NNW
	6 (火)	1.4	2.5	NNW, WSW	WSW, NW
	7 (水)	1.0	2.4	WSW	SW
	8 (木)	1.2	2.1	WNW	WNW
	9 (金)	1.2	2.6	WNW	WNW
	10 (土)	1.2	2.6	W	WNW
	11 (日)	1.0	3.1	W	W
	12 (月)	1.2	3.1	WSW	WNW
	13 (火)	1.2	2.3	W	WSW, W
	14 (水)	1.2	3.5	WSW	ENE, WNW
	15 (木)	1.3	2.1	ESE	ENE
値	16 (金)	1.9	3.2	ESE	ENE
	17 (土)	0.9	1.8	E	
	18 (日)	1.0	2.6	WNW	WNW
	19 (月)	1.6	3.1	N	WSW
	20 (火)	1.4	2.2	NNE	N
	21 (水)	2.4	5.9	NNW	N
	22 (木)	1.8	3.6	NNW	WNW
	23 (金)	1.1	2.7	NNW	NNW
	24 (土)	1.2	2.3	WNW	N
	25 (日)	1.5	2.9	ENE	E
	26 (月)	1.3	2.2	ENE	ENE
	27 (火)	1.2	2.7	NNW	N
	28 (水)	1.0	2.3	WSW	SW, WSW, W, N
	29 (木)	1.3	2.3	SW	SW, W
	30 (金)	1.9	3.0	SSW	SSW
測定時間(時間)		720			
月平均風速(m/s)		1.5			
月最大風速(m/s)		5.9			
月最多風向(16方位)		WNW			

注:1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。



大気質様式第8号(埋地地関連)

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成23年9月分]

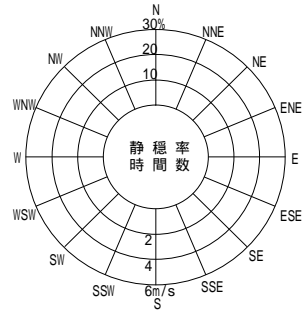
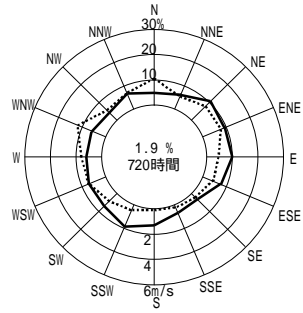
方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	44	56	64	64	32	16	9	6	18	26	54	56	86	45	54	76	14	720
頻度(%)	6.1	7.8	8.9	8.9	4.4	2.2	1.3	0.8	2.5	3.6	7.5	7.8	11.9	6.3	7.5	10.6	1.9	-
平均風速(m/s)	1.3	2.1	1.9	2.0	1.6	0.7	0.7	1.2	1.9	1.4	1.6	1.3	1.4	1.0	1.6	1.2	0.1	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局:南港中央公園局

風向風速計高さ:14.2m

凡例



—— 平均風速  
----- 出現頻度

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図[平成23年9月分]

水質調査結果（一般項目）

[平成23年9月分]

調査日：平成23年9月13日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	8:45	8:20	9:00	9:45	9:30	-	-	
透明度 [m]	2.3	2.1	2.0	1.9	2.4	1.9 ~ 2.4	2.1	
水温 [ ]	28.1	28.4	28.7	29.3	29.1	28.1 ~ 29.3	28.7	
	26.9	26.7	26.8	27.2	26.9	26.7 ~ 27.2	26.9	
塩分 [ - ]	12.5	6.1	12.7	18.1	20.8	6.1 ~ 20.8	14.0	
	32.8	32.4	32.4	31.9	32.4	31.9 ~ 32.8	32.4	
濁度 [度(カサ)]	2	3	3	2	1	1 ~ 3	2	
	1	1	1	2	1	1 ~ 2	1	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	4	5	4	4	2	2 ~ 5	4	
	2	1	2	4	3	1 ~ 4	2	
水素イオン濃度 (pH) [ - ]	8.3	8.3	8.4	8.4	8.4	8.3 ~ 8.4	-	
	7.8	7.9	7.9	7.9	7.9	7.8 ~ 7.9	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	3.6	3.7	3.3	3.8	3.5	3.3 ~ 3.8	3.6	
	2.0	2.1	2.0	2.5	1.9	1.9 ~ 2.5	2.1	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	12	11	12	13	12	11 ~ 13	12
	飽和度 [%]	2.0	3.8	2.3	2.5	3.7	2.0 ~ 3.8	2.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	165	147	167	188	176	147 ~ 188	169	
	30	57	35	38	56	30 ~ 57	43	
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.66	0.77	0.85	0.79	0.50	0.50 ~ 0.85	0.71	
	0.69	0.55	0.64	0.56	0.48	0.48 ~ 0.69	0.58	
全燐 (T-P) [mg/L]	0.028	0.044	0.035	0.042	0.027	0.027 ~ 0.044	0.035	
	0.050	0.052	0.057	0.050	0.039	0.039 ~ 0.057	0.050	
クロロフィルa (chl.a) [µg/L]	1	1	1	<1	<1	<1 ~ 1	1	
	<1	<1	<1	<1	<1	<1 ~ <1	<1	

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------

水質様式第 6 号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水（連続測定：総括））

[平成 23 年 9 月分]

項目	区分	放流水		
		最小値	～ 最大值	平均値
濁度	[度(カサ)]	0.2	～ 0.3	0.2
水温	[ ]	22.6	～ 28.4	25.4
pH	[ - ]	7.8	～ 8.1	8.0
COD	[mg/L]	2.2	～ 8.4	4.5
DO(No.1)	[mg/L]	7.6	～ 9.0	8.3
DO(No.2)	[mg/L]	7.4	～ 8.6	8.1
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水温は、分配槽の温度を測定</li> <li>・DOについては、測定計設置調整中のため、参考値として接触酸化槽での測定値を掲載</li> </ul>			

（定期測定）

調査日	時刻	放流水	
		水温	DO
		[ ]	[mg/L]
9/6(火)	13:15	28.7	4.40
9/13(火)	9:50	29.7	4.67
9/20(火)	9:40	25.6	4.75
9/27(火)	9:35	24.8	5.20
特記事項			

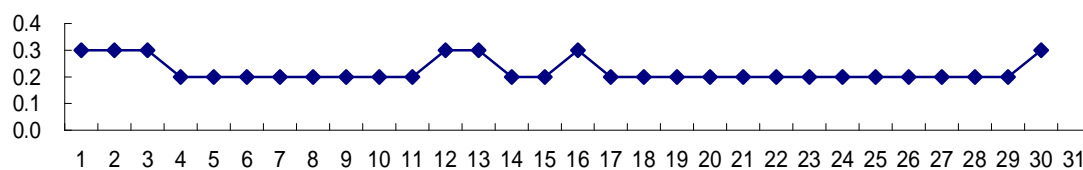
定期測定：水温とDO（連続測定）は参考値のため、平成 22 年 11 月から週 1 回、放流水の簡易測定を行っており、その結果を示している。

水質様式第7号

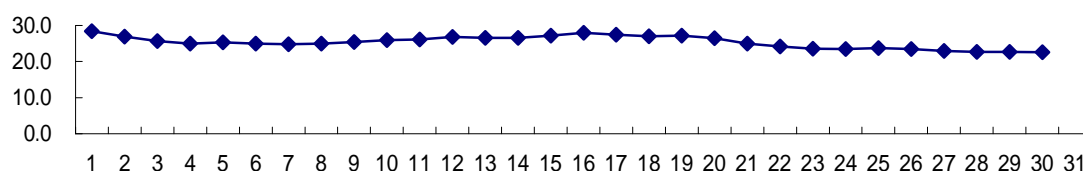
水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水（連続測定））

[平成23年9月分]

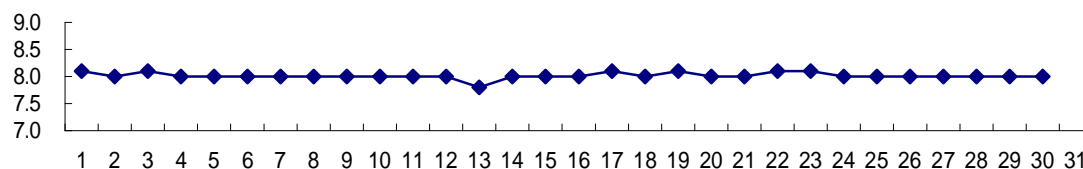
濁度[度(カサ)]



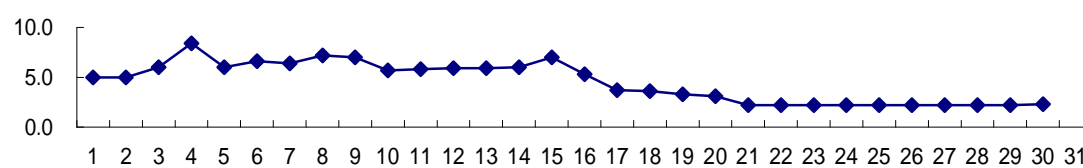
水温[ ]



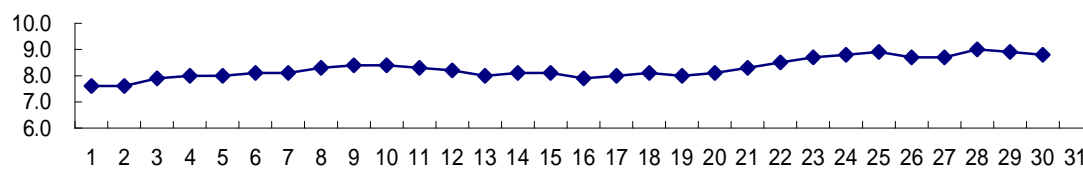
水素イオン濃度(pH)[ - ]



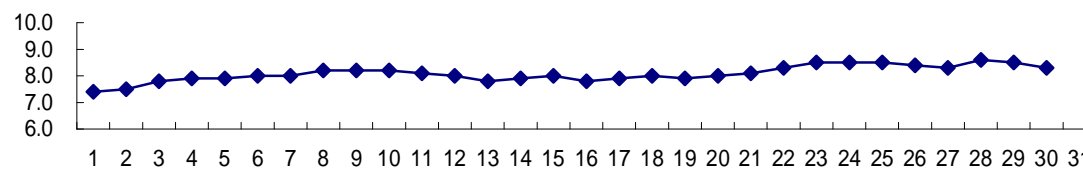
化学的酸素要求量(COD)[mg/L]



溶存酸素量(DO)[mg/L] No.1 接触酸化槽



溶存酸素量(DO)[mg/L] No.2 接触酸化槽



(月/日)

水質様式第8号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水、内水）[平成23年9月分]

区分 項目 調査日	放流水			内水		
	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]
9/6(火)	13:15	1.5	< 1	13:40	2.5	1.1
9/13(火)	9:50	1.7	< 1	9:45	11	4.4
9/20(火)	9:40	2.1	1.3	9:35	3.1	1.5
9/27(火)	9:35	1.8	< 1	9:50	2.7	1.1
平均値		1.8	1.1		4.8	2.0
最小値		1.5	< 1		2.5	1.1
最大値		2.1	1.3		11	4.4

特記事項

水質様式第9号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水、内水）[平成23年9月分]

調査日：平成23年9月6日

項目	区分	
	放流水	内水
時刻	13:15	13:40
pH[ - ]	8.1(25 )	8.7(25 )
COD[mg/L]	7.8	8.5
T-N[mg/L]	2.1	2.4

特記事項